



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

たくさんのメジャー

旭町小学校長 道山 正史

一学期後半がスタートしました。夏季休業中の子供たちは、家庭、地域で充実した、有意義な時間を過ごしていたことと思います。たくましく元気な子供たちを目の前にして、活気のある毎日が戻ってきたのを感じとることができ、何よりもうれしく思い、また感謝したいと思います。

さて、学校から離れて家庭生活に慣れ親しんだ子供たちの心身をできるだけ早く学校生活のリズムに切り替えさせることは、長い一学期後半から二学期前半をスムーズに乗り切る第一歩です。

朝、気持ちよく目覚めていますか？

朝ごはんを食べていますか？

早く寝て、一日の疲れをとっていますか？

運動会の練習もすぐに始まります。お子さんの健康管理にご配慮をよろしくお願いいたします。

秋は学習も行事も盛りだくさんです。これまでに育て蓄えてきた力をさらに伸ばし、子供たちが充実した日々を過ごすことができるように、成長を実感できる実りのある季節にしたいと考えます。

子供たちが成長を実感し、将来への希望を抱くには、周囲の理解や受け止めが欠かせません。「一つのメジャーは、そのメジャーで測れるものしか測れない」のですから、できるだけたくさんのメジャーをもって子供たちに接し、励まして自信を持たせたいものです。

けなされて育つと 子供は 人をけなすようになる

子供を馬鹿にすると 引っ込み思案な子になる

叱りつけてばかりいると 子供は「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

誉めてあげれば 子供は明るい子に育つ

認めてあげれば 子供は 自分が好きになる

見つめてあげれば 子供は 頑張り屋になる

(ドロシー・ロー・ノルト「子は親の鏡」詩の一部を抜粋)

この詩が最初に書かれたのは、およそ六十年も前のことですが、時代を超えて考えさせられるメッセージです。たくさんのメジャーで子供の成長をはかることで大人もさらに成長していくことができるのだと思います。この詩の最後は「和気あいあいとした家庭で育てば 子供は この世の中はいいところだと思えるようになる」と締めくくられています。大人も子供もたくさんのメジャーで自分や友達のよいところが見える人になれるように、学校が子供たちにとって居心地のよい場所になることができるように、教職員一同で取り組んでまいります。